

選挙の概況

1 まえがき

第26回参議院議員通常選挙は令和4年6月22日に公示され、7月10日に投票が行われた。この選挙は、平成28年7月10日執行の通常選挙で選出された議員が任期満了となるため行われたものである。

今回の選挙は、昨年行われた衆議院議員総選挙に引き続き通常の管理執行に加えて、新型コロナウイルス感染防止対策にも配慮しながらの国政選挙であった。

選挙では、選挙区75（うち1議席は通常選挙と合併して行った神奈川県補欠選挙の議席数）、比例代表50、計125の議席に選挙区367人、比例代表178人、計545人の立候補があり、経済対策、新型コロナウイルス感染症対策、安全保障、憲法改正などを争点として選挙運動が繰り広げられた。

投票率の全国平均は、選挙区選挙52.05%、比例代表選挙52.04%、本県では、選挙区選挙52.98%、比例代表選挙52.98%であり、ともに全国16位の投票率であった。

明るい選挙の推進については、高校生による街頭啓発をJR大分駅前で行うとともに、主に18歳～30歳代の若年層を中心に投票参加を呼びかけた。

2 管理執行

(1) 候補者及び当選人について

大分県選挙区は、定数1人に対し、無所属1人、自由民主党1人、NHK党1人、日本共産党1人、国民民主党1人、参政党1人の過去最多となる6人が立候補し、自由民主党新人の候補者が当選した。

前回の通常選挙から特定枠制度が導入された比例代表は、日本維新の会8人、れいわ新選組2人、公明党6人、立憲民主党7人、国民民主党3人、参政党1人、日本共産党3人、自由民主党18人、社会民主党1人、NHK党1人の計50人が当選人と決定された。

(2) 投票状況について

① 投票用紙

選挙区、比例代表それぞれ1,009,000枚を印刷し、選挙区がクリーム色の用紙に黒刷り、比例代表が白色の用紙に赤刷りとし、規格は縦13cm、横9cmの縦長とした。

また、点字器使用者の便宜を図るため、紙質を厚くし、点字シールで選挙の種類を表示した点字投票用紙も選挙区、比例代表それぞれ3,700枚印刷した。

なお、総務省において作成した在外投票用紙を在外選挙人名簿登録者数に応じて各市町村へ配付した。

② 投票所数

投票所は、県内で594箇所あり、そのうち投票所の閉鎖時刻を繰り上げたのは全18市町村で、繰り上げ数は、1時間の繰り上げが201箇所、2時間の繰り上げが187箇所、3時間の繰り上げが43箇所、4時間の繰り上げが9箇所の、合計440箇所であった。

③ 投票率

全国の投票率は、選挙区で男性52.27%、女性51.84%の平均52.05%、比例代表では男性52.26%、女性51.84%の平均52.04%であった。大分県の投票率は、選挙区で男性53.03%、女性52.95%の平均52.98%、比例代表では男性53.02%、女性52.94%の平均52.98%であり、選挙区、比例代表ともに全国で16番目に高かった。

④ 無効投票

無効投票は、選挙区で投票総数503,617票のうち13,232票で無効投票率2.63%と全国平均2.71%を下回ったが、比例代表については投票総数503,573票のうち16,017票で無効投票率3.18%となり全国平均2.98%を上回る結果となった。

(3) 開票状況について

① 開票状況

投票日当日、各市町村の開票区ごとに開票を行った。確定が最も早かったのは、選挙区は玖珠町で午後8時50分、比例代表は九重町で午後9時57分であった。最後に確定したのは、選挙区は大分市で午前0時23分、比例代表も大分市で午前6時31分であった。

② 開票速報

投開票の速報の受理、集計及び記録を行うため、正庁ホールに速報本部を設置した。昨年の衆院選から報道機関向けの発表は全てEメールで行っており、今回も同様に取り扱った。

速報処理に関しては、電話・ファックス16台、パソコン10台を使用した。

速報に要した人員は、総括責任者以下37人であった。

(4) 選挙会及び当選証書付与について

参議院大分県選出議員選挙選挙会は7月13日午前9時30分から、比例代表選出議員選挙大分県選挙分会は同日午前10時から、県選挙管理委員会室で開催された。

当選証書の付与は、同日午前11時30分から県庁舎本館議会棟第6委員会室で行った。

(5) 選挙公営について

① 政見放送

参議院大分県選出議員選挙の政見放送は、候補者が行い、テレビは6月28日から7月7日までの間にNHK2回、OBS1回、TOS1回、OAB1回の計5回、ラジオでは6月27日から7月7日までの間にNHK2回、OBS1回の計3回が放送された。

② 選挙公報

選挙区、比例代表を合体して新聞紙大(ブランケット版)の用紙に印刷し、6月25日に各市町村へ発送した。選挙区は全候補者の6人について2ページに、比例代表は15政党を8ページにわたって掲載した。

③ ポスター掲示場

ポスター掲示場の設置箇所数は3,744箇所、ポスター掲示面の区画数は8区画であった。

3 明るい選挙推進運動について

新型コロナウイルス感染症の影響のため、これまで振興局単位で実施していた「新有権者」等による街頭啓発は規模を縮小し、JR大分駅前では高校生による街頭啓発を行い、投票参加を呼びかけた。

また、新聞、テレビ、ラジオ、インターネット、広告塔、横断幕、広報車等を通じて、投票方法の周知や投票参加の呼びかけを行った。特に若年層に対する啓発に重点を置き、動画やSNSなどインターネットを利用した啓発を拡充した。